



がっこう

学校だより

令和4(2022)年1月28日

よこはましりつむつうらちゅうがっこう

横浜市立六浦中学校

校長 込江 茂久

「だれもが **安心して豊かに**生活できる学校を目指して

みんなのためにできること

ふくこうちょう ねぎし けい
副校長 根岸 慶

もとぶる やきゅうせんしゅ こうえんかい はなし
元プロ野球選手Aさんの講演会の話 をします。

Aさんは、セ・リーグの球団で活躍し、テレビにもよく出ていた選手ですが、入団から4年間はずっと2軍だったそうです。

こうこう やきゅう めいもんこう こうしえん しゅつじょう きたい にゅうだん かか にゅうだん ねんめ
高校野球の名門校で甲子園にも出場し、期待されて入団したにも関わらず、入団5年目の春も2軍で迎えることになりました。Aさんは、心の中で「おそらく今年限りで球団を辞めさせられるだろう」と思ったそうです。普通なら不安な気持ちでいっぱいはずですが、Aさんは次にこう考えました。

さいご ねん せわ ちーむ なに おんがえ
「最後の1年だから、お世話になったチームに何か恩返しができるか？」

「みんなのために自分は何かができるか？」

Aさんは翌日から自分の練習を終えると、バッティングピッチャーを手伝ったり、外野で球拾いをしたり、道具の片づけや手入れまでしたりしたそうです。

すると、Aさんに変化が現れました。

これまで気にしたことなかった他の選手の調子の良し悪しやチームの長所や課題がわかるようになりました。練習の手伝いを通して、チームの状態を客観的に見つめることができたのです。

プレースタイルも変わりました。これまで練習や試合では得意な長打力をアピールすることばかり考えていたAさんでしたが、チームのためにどのような働きをすればよいか、どんな場面で自分のよさが発揮できるかがわかるようになったそうです。結果、技能の幅が広がり、好成績をあげられるようになり、1軍に昇格して活躍することができました。

みんなのために何かができるか考えることは、これまで気づかなかったことを気づかせ、自分を成長させてくれます。Aさんのお話から私も学びました。

今のクラスで過ごす時間もあとわずかとなりました。友だちのため、クラスのために自分は何ができるかを考え、さらに自分のよさを発揮してください。

挨拶

当たり前の生活

相手意識をもった行動

安全な環境づくり

安心な環境づくり

新たな自分づくり